

お客様に「ありがとう」と言われることが、一番嬉しく励みになります



池田 武広 さん
 【七瀬・23歳】

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。
 今回は、県外の大学を卒業後、地元中野市に戻り、昨年4月から団体職員として働いている池田武広さんにお話をうかがいました。

◆ どのような仕事をされていますか？
 窓口で金融、共済関係の業務を担当し、日々大勢のお客様と接しています。
 お客様に「ありがとう」と言われることが、一番嬉しく励みになります。

◆ 今の仕事を選んだ理由はありますか？
 生まれ育った中野市が好きで、地元で役に立ちたいと思いました。
 また、実家が農家なので、農業関係に携わり、人と人が接する仕事があったからです。

◆ 休日ほどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 気分転換に、少し遠くまでドライブをしたり、大学時代から始めた大好きなギターを弾いています。
 また、職場の野球チームに



◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか。
 キノコ、ブドウなどの農産物の生産が盛んで、四季折々の自然豊かなところだと思います。

◆ 今後の抱負をお願いします。
 お客様の立場に立って、お客様のお役に立てるよう、さらに仕事を頑張っていきたいです。

◆ また、新しいことに積極的にチャレンジして、さらに知識を増やして、いろいろなことに役立てていきたいです。

◆ 所属していて、各種大会に参加し、上位を目指して頑張っています。

◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか。
 キノコ、ブドウなどの農産物の生産が盛んで、四季折々の自然豊かなところだと思います。

◆ 今後の抱負をお願いします。
 お客様の立場に立って、お客様のお役に立てるよう、さらに仕事を頑張っていきたいです。

◆ また、新しいことに積極的にチャレンジして、さらに知識を増やして、いろいろなことに役立てていきたいです。

◆ 所属していて、各種大会に参加し、上位を目指して頑張っています。

切手
 383-8614 中野市三好町一丁目
 中野市役所 3番19号
 庶務課秘書広報係
 住所・氏名・年齢・電話番号

継承

中野が誇る伝統文化

第二十三回 吊るし飾り制作者 小山早智子さん

吊るし飾りとは

吊るし飾りは、子どもの健やかな成長を願って、着物の切れ端などで作った縁起物を糸の先に吊るす伝統工芸の一種で、福岡県柳川市、静岡県伊豆町稲取地区、山形県酒田市などが有名です。

晋平少女合唱団の副団長として活躍する小山さんは、約50年以上前から趣味の一環として人形制作に取り組みかたわら、パッチワークや和裁・洋裁なども多数こなし、その集大成として約3年前から吊るし飾りを始めました。グラフィックデザインナーの娘さんが構図を考え、親子二人三脚で制作にあたることもあり、小山さんの場合は正月やクリスマス、十二支、旅の思い出など、



▲吊るし飾りと小山さん

テーマを決めて制作にあたります。納得いく物を作るため、化学繊維は使わず本絹を使うなどと、素材からこだわるといっています。

◆ 吊るし飾りの魅力とは
 とにかく小さく可愛いのが魅力。花と象など、実物では明らかに大きさが異なるような小物を並べて吊るしても、全く違和感を感じません。

◆ 今までは、千個以上の人形を作ってきましたが、同じ物でも色や形が異なるため、違った感動を体験できるとともに、新たな制作意欲がわいてきます。前述の稲取地区に作品を視察に行くこともあります。今では吊るし飾りが生きがいです。

◆ 皆さんへのメッセージ
 『百聞は一見に如かず』。実際に見て歩くと良いですね。また、自分で作ってみると、初めてその魅力に気づくこともあります。先月、中野陣屋県庁記念館で作品展を開催したところ、大勢の方に観ていただき、皆さん笑顔で帰っていかれたため、とても満足できました。人形は人の心を優しくしてくれます。頑張っ

市民リレーインタビュー

キャッチボール

No.31

松島 太地さんから紹介された



萩原 久美子 さん
 (会社員・長嶺)

①自己紹介
 奄美大島で生まれ中野市で育ちました。アウトドアが趣味で、夏は海に出かけ、冬は週1回スノーボードを楽しんでいます。

②今後チャレンジしたいこと
 海が大好きなので、今年からサーフィンを始めたいと思います。また、ダイビングのライセンスを取りたいですね。

③これからのまちづくりに望むこと
 中野市全体が盛り上がるイベントを増やしてほしいと思います。文化公園一帯は自然が豊かで、桜もきれいに咲きます。大勢の方でにぎわうようになってほしいです。

電車の運転手になりたい



中野小学校 6年
 古川 陵頌くん

ぼくの夢は、電車の運転手になることです。
 小さい時から、お兄ちゃんといっしょに、長野電鉄や新幹線を見に行ったり乗ったりして、電車が好きになり、プラレールなどのゲームで運転のそらさを楽しんでいるうちに、電車の運転手になりたいと思いました。しかし、電車には人身事

故がたくさんあります。事故が起こると、大切な命が失われてしまう事もあるし、悲しい事になってしまいます。

◆ ぼくが運転手になれたら安全が一番と考えて、お客さんに信頼されて、周りの人にもとめてもらえるようになりたいです。

◆ 電車を好きになるきっかけを作ってくれたお兄ちゃんも、運転手になることを目標に鉄道会社でがんばっています。

◆ ぼくもお兄ちゃんに負けないように、夢をかなえるために、これからは勉強をがんばりたいと思います。



No.60